

ビッスモサークル

「遊び」を通して、地域の子どもたちの身体と心の成長をお手伝いするサークルです☆

①グループが活動を始めたきっかけ・活動の目的（地域のどんな課題を解決したいか）

私たちはもともと、津 YMCA の学生リーダーとして、津市の幼稚園において行われていた YMCA の活動に参加していました。その活動とは、毎週 1 回、地域の幼稚園生～小学生までの異なる年齢の子どもたちが一緒になり、幼稚園のお遊戯室や園庭を使って様々な「遊び」を行うというものです。地域の子どもたちが「遊び」を通して、身体も心も健やかに大きくなっていくためのお手伝いをすることが目的でした。

身体的な発達を応援するために、跳び箱や鉄棒、平均台などの体育としての遊びも行いましたが、何より重点を置いていたのは、用意された遊具や道具を使うのではなく、自分たちで遊びを考え、異なる年齢の子どもたちがみんなで楽しく遊ぶ、ということでした。現代は、ゲームや遊具が豊富になり、自分で考えて遊ぶという経験が少なくなっているだろうということ、また異年齢の子どもが触れ合って遊ぶという経験が少なくなっているだろうということ、そして何より地域に自由に遊べる場所が少なくなっているだろうということ課題として捉え、そんな課題を解決していきたいと考えて、活動を続けていました。

しかし、諸事情から幼稚園での活動が続けられなくなり、このまま活動を終了してしまうのか…と悩んでいたなかで、学生リーダーから「三重大学の広大な敷地を使って活動を続けられないか」との意見が飛び出しました。確かに、大学内の敷地は広く、子どもたちの好奇心を刺激する様な雑木林や草原がいくつもあります。車も通らないため、遊ぶ場所としては最適だと感じました。その意見にメンバーが賛成し、大学にサークル申請をして、無事に三重大学に「ビッスモサークル」が誕生したのです。活動の目的は、サークル化しても一貫して変わらず、「遊び」を通して地域の子どもたちの身体の成長、心の成長を応援するというものです。まだまだ関わっている学生の数は少ないですが、学生たちの溢れる熱意は、人数の少なさに負けないパワーを作り出しています。

②グループのメンバー構成等

津 YMCA	構成員	尾崎尚美
三重大学教育学部	助教授	瀬戸美奈子
三重大学教育学部	修士 1 年	酒井啓輔
三重大学教育学部	4 年	芳田翔太郎
三重大学工学部	4 年	外山拓希
三重大学生物資源学部	4 年	小林大起
三重大学教育学部	3 年	西川佳那
皇学館大学教育学部	3 年	松田紘貴
皇学館大学教育学部	2 年	芝山智葉
皇学館大学教育学部	2 年	岸真由
三重大学人文学部	卒業生	小野美樹

以上、大学の先生、学生、卒業生を合わせて 10 名のメンバーが携わっています。メンバーはとても少ないため、新しい仲間を大募集中です。

③現在の主な取組内容

津 YMCA と三重大学ビスマサークルが連携し、毎週土曜日には大学内において、毎月第四日曜日には大学を飛び出して地域の遊び場において、子どもたちと学生リーダーでの「遊び」に取り組んでいます。「遊び」の内容は様々ですが、そのいくつかを紹介します。



☆伝承遊び

鬼ごっこ、しっぽとり、かくれんぼ、ポコペン、エスケン、だるまさんがころんだ、おはじき、けん玉、陣取り、ゴムとびなどなど…昔から子どもたちが遊んできた遊びです。意外と学校ではなかなかやらない…という意見もあり、子どもたちに好評です。

☆フィールドアスレチック

木や木の枝、石などその場にある自然のものを自然のまま使ったり、土を掘ったり積んだりして工夫して使ったり、ひもや布など家庭にあるものを使ったりしながら、自分たちで遊ぶためのフィールドアスレチックを自分たちで作ります。もともと公園などに設置されたフィールドアスレチックで遊ぶのとは違い、自分たちで小さな子から大きな子まで異年齢でも遊べるように工夫をこらし、なかなかおもしろいものを作ります。

☆季節探し

春夏秋冬、すべての季節にそれらしさがあります。春には色づく草花、夏ならたくさんの虫たちや蝉の抜け殻、秋なら落ち葉やどんぐり、冬なら凍った池や草に張った霜など…。夏は涼しく、冬は暖かい室内にいる今の子どもたちは、なかなか気付きづらいものです。そのような季節による自然の違いを感じてもらうために、「秋をみつけよう！！」などと銘打ってみんなで探検に出かけます。特に三重大学内にはたくさんの草花、虫たちがいるので、子どもたちは本当に飽きません。たくさんのものを持って帰ってきます。集めてきた草花や虫の絵を描き、名前を図鑑で調べながら、自然に少し詳しくなったりします。



④地域との連携の具体的な状況

地域の異なる幼稚園、保育園、小学校に通う子どもたちを集めて活動しているため、色々な学校の子どもたちと仲良くなることができ、子どもたちの世界も広がるようです。**子どもたちの横の繋がりが広がっていく**、という部分でとても有意義であると感じています。お迎えの際には、保護者の方々でお話しに花を咲かせていらっしゃる場面も見受けられ、保護者の方々の交流にもなっていればいいな、と感じています。また、幼稚園、保育園の子どもたちと小学校の子どもたちはなかなか触れ合う機会がありません。兄弟のいる子どもも少なくなっており、異年齢の子どもたちと一緒に遊ぶという機会は本当に少なくなっているようです。大きな子たちにとって、小さな子はどんなことができ、どんなことができないのか。どんな配慮がいるのか。最初は全く分からず、イライラしたり、小さな子相手にムキになってしまったり…。それでも子どもはコツを掴むのが早く、すぐに小さな子との接し方を身に付けていきます。**子どもの縦の繋がりが広がる瞬間**です。大きな子は意識するわけではなく、ごく自然に、自分より弱い子への優しさ、思いやりを身に付けていってくれます。そこに私たち学生リーダーなど、大人の力はほとんど要りません。子ども同士の触れ合いがいかに大切か、実感させられるところです。そして小さな子の方も、大きな子に接することで、良い見本を手に入れていきます。「自分も小さなときにこうしてもらったから」という思いをもち、自分より小さな子が出てくると同じように思いやりをもって接してくれ

るようになるのです。子ども同士の縦の繋がりがしっかりできると、それはどんどん良い連鎖を生んでくれるのだと思います。

⑤これまでの取組の成果・課題

成果といえるかどうかわかりませんが…三重大学での活動の様子を写真でご覧下さい。こちらの写真は、三重大学の大学祭にて、ビスマサークルのメンバーでフリーマーケットを出したときのものです。子どもたちの小さくなった服や小物を中心に扱い、なかなかの売れ行きでした。地域のおばちゃん、おじちゃん、お姉さん、お兄さん…さまざまな人とおしゃべりをしながら、子どもたちの「いらっしゃいませ〜!!」「ありがとうございました〜!!」の声にも力が入りました。地域の子ども連れのご家庭もたくさんみえ、チラシを配ってビスマサークルを紹介させていただいたりもしました。



そのときに配ったチラシもご覧下さい。学生メンバー手作りチラシです。

三重大学公認

ビスマサークル

どようび 土曜日に
みえ だいがく しまち ない
三重大学 敷地内 で
だいがく せい せい せい
大学生のお兄さん、お姉さんと
あそびませんか〜??

ふうち えん ふうがく せい
ふか雑園 ~ 小学生のおなさんを
(30円以上でおむすの取れているお子様) 待っていま〜す??

いろいろなあそびをとおして、
おなさまの たいりょく
異年齢の子どもたちと 触れあひ
⇒ 社会性 が身につく
たくさん の 経験 ができる

11月 は いつやるの?
11月 16日 (土) 10:00 ~ 12:00 でしょ〜♪

詳しくは 代表 酒井 () まで

いろいろあそびレクリエーションをやりま〜す??

次は違う写真です。こちらの写真では、大きな子が作ってくれた秘密基地に、小さな子たちが入って遊んでいます。この秘密基地には、この後ちゃ〜んと屋根が付きます。



⑥今後の方向性・将来の夢

私たちビッスマサークルは、まだまだ小さなサークルです。幼稚園を借りていた頃には、幼稚園からそのまま来れる・その幼稚園に在園している子や卒園した子が来やすい…など様々な利点があったため、子どもたちの人数もとても多く、地域の方々に知っていただくことも容易でした。しかし、三重大学内で活動するようになり、三重大学まで足を運ばなくてはならないという不便さ、大学が休みの土日に活動しようと思うと子どもの習い事や学校の行事、家庭のお出かけなどに重なってしまうという不都合などから、子ども的人数がだいぶ減ってしまうことになりました。今まで地域の方々の口コミに任せていたため、新しい子どもたちに来てもらうこともとても難しくなっています。そこで私たちは、今後活動をさらに活性化させていくべく、以下の2つのモットーを胸に意欲を燃やしています。



☆もっと魅力あふれる活動に

・地域との連携を深める・・・地域の子どもたちにたくさん来てもらう、年齢の垣根を越えて遊んでもらう。保護者の方々の交流の場にもしてもらおう。私たちが今まで考えてきた地域との連携とは、そのようなものでした。しかし、地域との連携とはもっとさまざまなものがあり、ビッスマサークルにもどんどん活用していけるのではないかと。学生同士の話し合いのなかで、そんな意見が飛び出しました。地域の公民館や公園を遊び場所にする事で、地域のさまざまな年齢の方々と触れ合うこともできる。地域のお祭りや運動会、バザー等に参加させていただくことで、地域のいろいろな活動に子どもたちを携わらせることができる。そして、地域の方々からのいろいろなお話やアドバイスをいただくこともできる。もっと幅広く地域と連携していくことで、もっとビッスマサークルの活動意義を深めていけると考えました。今後、ビッスマサークルはどんどん地域に飛び出していきます。

・学生同士の連携を深める・・・現在、ビッスマサークルで活動しているメンバーは10名しかいません。学生だけでは7名です。まずはボランティアメンバーをもっと募り、特に学生メンバーをどんどん増やしていこうと

考えています。そして、学生メンバーの連携をどんどん深めていこうと考えています。学生メンバーの考えは実に多種多様です。育ってきた環境の違い、大学の違い、学部の違い…さまざまな違いによって、学生メンバーの考えにはとても幅があります。考え出す「遊び」もおもしろいほどに違います。そんな学生メンバーがしっかりと連携し、考えをすり合わせていければ、とても豊かな活動内容になっていくに違いありません。現在の7名の学生メンバーでもさまざまな意見が出てくるので、10名、20名と増やしていくことができればさらなる活動の幅をもたせることができると考えています。また、月に一度、半年に一度など頻度を決め、学生メンバー同士のミーティングや保護者の方々との話し合いの場もつくっていききたいと考えています。

・活動の幅を広げる・・・地域との連携を深める、学生同士の連携を深めることによって、ビッスマサークルの真髄である子どもたちとの「遊び」の幅もどんどん広げていきたいと考えています。今までは少数の学生たちと子どもたちで考えた遊びしかありませんでしたが、今後はたくさんの方々と連携していくなかでさまざまな意見を反映させ、より子どもたちの身体と心の発達をサポートしていける「遊び」を創っていききたいと考えています。

☆もっと魅力を知ってもらえる広報活動を

・チラシ配布やポスティングによる広報・・・地域の行事に参加して、チラシを配布させてもらう。お家一軒一軒にチラシを投函させてもらう（ポスティング）。私たちは今まで、地域の方々にビッスマサークルの活動を知っていただきたいと焦りながらも、そのような地道に足を使って回る方法を全く考えてきませんでした。口コミで広げて頂いていた頃に甘んじていました。今後は学生の武器である足を使って、どんどん地域を回ります。

・ホームページの充実・・・私たちの活動はホームページ (<http://bissumo.web.fc2.com/>) においても紹介しています。しかし、ホームページはまだ開設して間もないこともあり、簡素で見にくいいため、アクセス数も伸び悩んでいます。ふと目にとまる、そして見てしまったら最後、ビッスマサークルに来たくてたまらなくなってしまう、そんなホームページにしていけるように、今後どんどんホームページを充実させていきたいと考えています。

